

注意!!

## 特定外来生物

# オオバナミズキンバイ



花



茎  
越冬時は赤色



実



匍匐茎からは丸みのある葉



花茎からは細長い葉

### 【特徴】

- ・黄色の5弁花(径4cm程度)
- ・葉は茎から互い違いに生える(互生)
- ・葉の色が濃く、脈が白っぽい(形はいろいろ)
- ・茎は「節」の部分で太くなり、表面全体に細く短い毛が密生する
- ・熟すと赤茶色になる実ができ、その中に多数の種子ができる
- ・匍匐茎は地面を這いながら枝分かれし、各節から根を出す
- ・花茎は上に伸び、稲穂の間から花を咲かせる
- ・茎の断片からも栄養繁殖が旺盛で、水中でも陸上でも生育が可能

早期発見(畦沿い、水口、ヤードに多い)、早期駆除が重要ですが、  
外来生物法の特定外来生物なので、除去した直後、  
生きたままの移動は原則として禁止です。

また、刈り取った場所で放置すると、そこで根を下ろして定着します。  
このように、取り扱いが厄介なので…

### 【見つけたら最寄りの農業農村振興事務所へご連絡ください】

大津・南部:077-567-5421 甲賀:0748-63-6127 東近江:0748-22-7727  
湖東:0749-27-2232 湖北:0749-65-6629 高島:0740-22-6028

その他、外来植物に関するご質問は、県自然環境保全課へ  
自然環境保全課 生物多様性戦略推進室:077-528-3483